

veeam



Veeam

ポータフォリオ ハンドブック

目次

Veeam

Veeamユニバーサルライセンス

Veeamのポートフォリオ

- サービス
 - バックアップと復元
 - SaaSバックアップ
 - Kubernetes
- バンドル
- アドオン
 - 監視とレポート作成
 - ディザスタリカバリ
 - NAS Capacity Pack
 - クラウド・ネイティブ・ソリューション

Veeam製品のバージョンとエディション

- 製品バージョン
- 製品エディション
- アップグレードのオプション

おわりに



Veeam →



Veeamユニバーサルライセンス →



Veeamのポートフォリオ →



Veeam製品のバージョンとエディション →



おわりに →

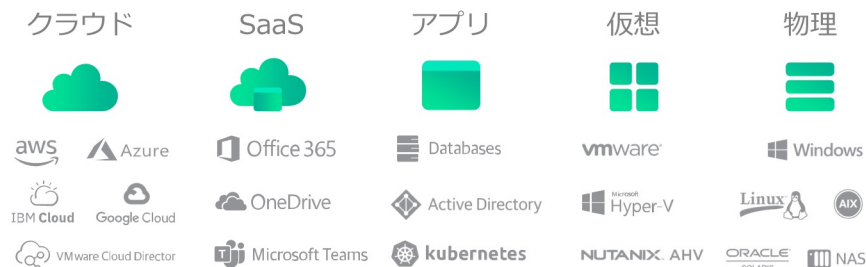







Veeam

Veeam®は最新のデータ保護を実現するバックアップソリューションにおけるリーダーです。Veeamプラットフォームは全てのデータに対する非常に多機能なデータ保護ソリューションです。オンプレミスにデプロイされていても、クラウドにあってても、Backup as a Service (BaaS) やDisaster Recovery as a Service (DRaaS) を利用していても、あらゆるデータを保護できます。

インテリジェント・データ・マネジメントを実現すると同時に、バックアップと復元の主な機能を自動化することにより、ビジネスのアジリティをさらに高めるソリューションです。

オンプレミスとクラウドの環境、Software as a Service (SaaS)、エンタープライズアプリケーションにまたがるデータマネジメントを進化させる後ろ盾となるのがVeeamプラットフォームです。あらゆるアプリケーションまたはクラウドインフラストラクチャにおいて、データの可用性を確保しつつ、ビジネスデータのセキュリティも強化できます。



-  データの再利用
-  ディザスタリカバリ・オーケストレーション
-  監視と分析
-  バックアップと復元
-  ストレージ、分析、管理の各API

 オンプレミス  パブリッククラウド  BaaSとDRaaS



Veeamユニバーサルライセンス

Veeamユニバーサルライセンス (VUL) は、オンプレミスやクラウドの様々なワークロードを保護する、柔軟性の高いポータブルなソリューションです。

ワークロードがクラウドネイティブ、仮想、物理、アプリケーションベース、非構造化ネットワーク接続ストレージ (NAS) のどれであっても、またはそれら全ての組み合わせであっても、VULで全て保護できます。

VULでは全ての機能を使用できるだけでなく、24時間365日対応のプロダクションサポートが提供されます。



Office 365とKubernetesのバックアップには個別のライセンスが必要で、VULの対象ではありません。



Veeamのポートフォリオ

Veeamのポートフォリオでは、あらゆる規模のお客様に対して、ワークロードの保護を容易にする柔軟なポータブルライセンスのオプションをご用意しています。

サービス

バックアップと復元 [Veeam Backup & Replication](#)

Veeamの主力製品であるVeeam Backup & Replication™は、クラウド、仮想、Kubernetes、物理のあらゆるワークロードに対して信頼できるアベイラビリティを実現します。シンプルさを念頭に置いて設計された管理コンソールから、高速かつ柔軟で信頼性の高いバックアップ、アーカイブ、復元、レプリケーションをすばやく実行できます。

SaaSバックアップ [Veeam Backup for Microsoft Office 365](#)

Veeam Backup for Microsoft Office 365なら、Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive for Business、Microsoft TeamsなどのOffice 365データが失われるリスクを解消できます。

Kubernetes [Kasten K10](#)

Kastenは、クラウドネイティブのデータを網羅的に保護するプラットフォームです。使いやすく拡張性と安全性に優れたソリューションで、Kubernetes（OpenShiftを含む）のバックアップおよびアプリケーションのモビリティを実現できます。



バンドル

[Veeam Availability Suite](#)

Veeam Availability Suite™はVeeam Backup & Replicationのパワフルなデータ保護機能とVeeam ONE™の監視機能を1つのエンタープライズ向けバンドルにまとめたソリューションで、保護と分析のどちらのニーズにも対応できます。

業界をリードするこの2つの製品を組み合わせることで、高度なデータ保護のニーズにもより簡単に対応できます。また、設定に関する重要な情報も得られ、より高度なデータ保護と優れたビジネスアジリティを実現できます。

[Veeam Backup Essentials](#)

Veeam Backup Essentials™も、Veeam Backup & Replicationのパワフルなデータ保護機能とVeeam ONEの監視機能を兼ね備えたソリューションです。パワフルでありながら、使いやすさと導入しやすい価格体系が特長であり、最大で50の仮想、物理、クラウドのワークロードを対象としたバックアップ、復元、監視、レポート作成に対応しています。



アドオン

監視とレポート作成 [Veeam ONE](#)

Veeam ONEは、可視化、レポート作成、分析を通じて、問題が顕在化する前に検出。サポートエクスペリエンスを合理化して、コンプライアンス目標に基づいてバックアップを管理します。バックアップ環境を本当の意味で先回りして管理できます。

ディザスタリカバリ [Veeam Disaster Recovery Orchestrator](#)

Veeam Disaster Recovery Orchestratorは、複雑なIT環境で事業継続性/ディザスタリカバリ（BCDR）のニーズに応えるために作られました。これらの目標の達成を後押しすると同時に、時間のかかる手作業になりがちなDRプロセスの複雑さを軽減します。テストの自動実行、自己文書化、DR計画の実行をクリック1回で開始して、1つのアプリケーションからサイト全体に至るまで、あらゆる対象を復元できます。

NAS Capacity Pack

VULでは、最大500GBのNASデータを保護できます。Veeam Availability Suite、Veeam Backup & Replication、またはVeeam Backup Essentialsのライセンスをお持ちの場合は、NASデータを保護するための便利なアドオンオプション [NAS Capacity Pack](#) をご利用ください。



スタンドアロンのクラウド・ネイティブ・ソリューション

クラウドネイティブなバックアップと復元を可能にする[Veeam Backup for AWS](#)、[Veeam Backup for Microsoft Azure](#)、[Veeam Backup for Google Cloud Platform](#)は、それぞれのプラットフォーム専用に設計。どんなクラウドデータの消失も簡単に解決します。

クラウドネイティブとは、クラウドプロバイダーのテクノロジーやインフラストラクチャを活用して、そのプラットフォームにとって最高のデータ保護を提供することを意味します。次のことが可能になります。

- 完全自動型でシンプルな操作と柔軟なスケーリングを可能にするネイティブのスナップショットにより、**極めて低いRPOとRTOを実現**
- ネイティブのスナップショットを低コストのオブジェクトストレージ層にバックアップすることで、**クラウドのコストをコントロール**
- IDやアクセスの管理ツールと統合することで、**データを脅威から保護**

クラウドネイティブのソリューションをVeeamのプラットフォームやポータブルなバックアップ形式と組み合わせると、ハイブリッドクラウドやマルチクラウドのインフラストラクチャを管理するために最高の環境が完成し、**あらゆるプラットフォーム間でデータを移動できるようになります。**



Veeam製品のバージョンとエディション

Veeamの製品には、バージョンとエディションという2つの主な構成要素があり、必要に応じて変更できます。

製品バージョン

新しいバージョンとは、新しいソフトウェアリリースのことを指します。有効な契約をお持ちのお客様には最新バージョンのダウンロードをご案内していますので、最新機能が導入された環境を常に使用できます。新しいバージョンへアップグレードすると、以前のバージョンにはダウングレードできなくなります。

バージョンのリリースごとに、以前のバージョンにはない新機能が追加されます。ソフトウェア開発の進行の度合いを表すのがバージョン番号です。Vxxなど、「V」に続く数字によって識別できます。最新のバージョンと関連ドキュメントは、リリースノートや新機能のまとめと合わせて、[\[My Account\]の\[My products\]メニュー](#) から入手できます。

License management

Products

Support

Resources

Sales and Renewals

Product downloads

My Products | More products

Veeam Availability Suite

Version: 11.0
Build: 11.0

MD5: aaff...13f4
SHA-1: 2c44...a21f

Product documentation Knowledge base

Contracts and licenses | Download details

Download (7.3 GB)
Alt. Download



製品エディション

ライセンス製品のエディションとは、ソフトウェアや製品が備えている機能のレベルを表します。Veeamのソケット単位ライセンスには、Standard*、Enterprise*、Enterprise Plusという3つのエディションがあります。Standard*は基本的な機能を、Enterprise Plusは最も豊富な機能を備えています。

Veeamユニバーサルライセンスの場合は、ワークロードや環境を問わず、全ての機能を使用できます。完全な比較リストは、[こちら](#)をご覧ください。

		エディション		
ライセンスの種類	サービス	Standard	Enterprise*	Enterprise Plus
ソケット単位ライセンス	Veeam Availability Suite	○*	○*	○*
	Veeam Backup & Replication	○*	○*	○*
	Veeam Backup Essentials	○	○	○

*2021年1月1日より前に、上の製品エディションをご購入いただいている場合のみ使用できます。新規ご購入の場合は使用できません。



業界をリードするVeeamの機能と、それぞれの機能を使用できるライセンスタイプの組み合わせを示します。

機能	Veeamユニバーサルライセンス (VUL) で提供	ソケット単位ライセンスで使用可能	VULをソケット単位ライセンスと統合した場合に使用可能
継続的データ保護	○	Enterprise Plus	×
AWS・Azureのプラグイン	○	×	×
アーカイブ層	○	Enterprise Plus	×
強化Linuxリポジトリ	○	全エディション	○
NASのインスタントリカバリ	○	×	○
SQL/Oracleのインスタントリカバリ	○	Enterprise Plus、Enterprise	×
あらゆるアイテムのHyper-Vへのインスタントリカバリ	○	全エディション	○
Veeam Agent for Mac	○	×	○
RESTful API	○	Enterprise Plus	×



アップグレードのオプション

ソケット単位ライセンスをご利用中で[有効なサポート契約](#)の期間内、かつデータ保護ソリューションの最適化に関心をお持ちの場合は、[Veeamユニバーサルライセンス \(VUL\)](#) へのアップグレードをお勧めします。VULは、絶えず変化するワークロード運用環境を対象とした、柔軟かつポータブルで投資対効果の高いライセンスソリューションです。VULにアップグレードすると、製品の全ての機能および24時間365日対応のサポートをご利用いただけるほか、任意のワークロードにVULを適用できるようになります。

VULなら、ライセンスも貴社のビジネスと共に進化できます。他にも様々なメリットがあります。

現在のライセンスレベルの継続をご希望の場合は、有効なサポートレベルをそのまま維持することをお勧めします。ただし、現在のソケット単位エディションから上位機能製品へのアップグレードをご希望の場合は、Enterprise Plusへのアップグレードのみ可能となります。



最適な利用についてのご提案

現在のソリューション	ご提案内容	懸念事項	利点
Veeam Backup Essentials Veeam Backup & Replication Veeam Availability Suite Veeam Backup for Office 365 AWSネイティブのバックアップと復元 Azureネイティブのバックアップと復元 Google Cloudネイティブのバックアップ	ライセンスの追加購入	テストが必要、キャパシティが限られている、管理の対象となる組織やワークロードが小規模または少数などの理由で、少量のVeeamライセンスを既に購入している。 バックアップを管理するため、各種のソリューション、プロバイダ、ベンダーを既に導入している。	データ保護をVeeamまで拡大することにより、データ保護の機能が強化され、ベンダー環境が簡素化されて、コストが最適化されます。
Veeam Backup & Replication Veeam Availability Suite Standard EditionまたはEnterprise Editionのソケット単位ライセンス	次のライセンスへの移行： VULサブスクリプション VUL永久ライセンス	柔軟性に欠ける オンプレミスのみ VMware vSphereとMicrosoft Hyper-Vのみサポート NASファイル共有、アプリ、エンドポイントの保護には非対応	<p>全般的なポータビリティ：複数のVeeam製品とワークロードにわたってライセンスを使用できます。</p> <p>使い方がシンプル：ライセンス注文、管理、統合の機能を簡単に使えます。</p> <p>価値が増大：機能が増えてもワークロードあたりの価格は低くなるため、ニーズに合わせてご購入いただけます。</p> <p>価格の予測可能性：複数年契約でご購入いただけます。</p> <p>従量制：お支払いは必要分のみとなります。</p> <p>ロックインなし：サブスクリプションの更新義務はありません。</p> <p>ライセンス期間を通じて24時間365日のプロダクションサポートを受けられます。追加料金は発生しません。</p>

[FAQ Veeam.com](#)



現在のソリューション	ご提案内容	懸念事項	利点
Veeam Backup Essentials	Veeam Backup & Replication Veeam Availability Suite	ワークロードは最大50までで、キャパシティが限定的	50を超えるワークロードを保護および監視する必要が生じることは、実際にあり得ます。
Veeam Backup & Replication	Veeam Availability Suite	インフラストラクチャを監視する手段が必要	Veeam Availability Suiteは、Veeam Backup & Replicationのパワフルなデータ保護機能とVeeam ONEの監視機能を1つのバンドルにまとめたソリューションで、保護と分析のどちらのニーズにも対応できます。業界をリードするこの2つの製品を組み合わせることで、高度なデータ保護のニーズにもより簡単に対応できます。また、設定に関する重要な情報も得られ、より高度なデータ保護と優れたビジネスアジリティを実現できます。



現在のソリューション	ご提案内容	懸念事項	利点
<p>Veeam Backup Essentials</p> <p>Veeam Backup & Replication</p> <p>Veeam Availability Suite</p>	<p>Veeam Backup for Office 365</p>	<p>Office 365のバックアップがお客様の責任である7つの理由</p> <ul style="list-style-type: none"> • 意図せぬ削除 • 保持ポリシーの混乱/ギャップ • 内部のセキュリティ脅威 • 外部のセキュリティ脅威 • 法的要件とコンプライアンス要件 • ハイブリッド環境と移行 • Teamsデータの構造 	<p>Veeam Backup for Office 365 は、Office 365を対象に含む包括的なバックアップソリューションに、不可欠な保護機能と監視機能を提供します。</p>
<p>Veeam Backup Essentials</p>	<p>NAS Capacity Pack</p>	<p>際限なく増大する非構造化データが保護の対象になっておらず、既存のソリューションでは管理が煩雑になりかねない</p>	<p>シンプルでパワフルなNASバックアップ</p> <p>柔軟性に富んだNASデータストレージ</p> <p>信頼性に優れたアーキテクチャ</p> <p>中小企業の実環境に適した価格体系</p>
<p>Veeam Backup & Replication</p> <p>Veeam Availability Suite</p>	<p>NASバックアップ (追加のVULで実現)</p>	<p>際限なく増大する非構造化データが保護の対象になっておらず、既存のソリューションでは管理が煩雑になりかねない</p>	<p>シンプルでパワフルなNASバックアップ</p> <p>柔軟性に富んだNASデータストレージ</p> <p>信頼性に優れたアーキテクチャ</p>



現在のソリューション	ご提案内容	懸念事項	利点
Veeam Backup & Replication Veeam Availability Suite	Veeam ONE Veeam Disaster Recovery Orchestrator	ディザスタリカバリ（DR）機能が必要になる可能性がある	Veeam ONEとVeeam Disaster Recovery Orchestratorは、詳細な可視性に加え、監視、レポート作成、キャパシティ・プランニング・ソリューション、自動化されたDRテスト、動的な文書化が完全に統合された環境を実現します。
Veeam Backup & Replication Veeam Availability Suite	SAP HANA、 Oracle RMAN向けプラグイン		DBAがVeeamをバックアップターゲットとして利用できます。 DBAがバックアップとリストアのプロセスを全面的に管理できます。 参考： プラグインの提供価値
Veeam Backup Essentials Veeam Backup & Replication Veeam Availability Suite	Kasten K10		Kasten K10は、Kubernetes専用に設計されたデータ管理プラットフォーム。使いやすく拡張性と安全性に優れたシステムで、Kubernetesアプリケーションのバックアップやリストア、ディザスタリカバリ、モビリティを可能にします。K10はネイティブのKubernetes APIを提供し、全面的な一貫性、データベースの統合、アプリケーションの自動検出、マルチクラウドのモビリティ、パワフルなWebベースのユーザーインターフェイスといった特長があります。
Veeam Backup for Office 365	Veeam Backup Essentials Veeam Backup & Replication Veeam Availability Suite	コストが高く管理しきれないレガシーバックアップ・ソリューションが使用されている場合がある	お客様のニーズや環境の規模によっては、全てをVeeamのソリューションによる網羅的なバックアップ、レプリケーション、監視、ディザスタリカバリの対象にできます。実行元が1つのプラットフォームであるため、全てのワークロードを対象としたうえで、シンプルさ、信頼性、費用対効果が確保されます。
スタンドアロンのクラウド	Veeam Backup Essentials Veeam Backup & Replication Veeam Availability Suite	スタンドアロン・クラウドバックアップは物理と仮想の両方のワークロードには不十分 複数のライセンスタイプが必要	1つのライセンスタイプで、物理、仮想、クラウドの全てのワークロードに対応

おわりに

ビジネスとデータを確実に保護するには、ビジネス上のニーズを満たす推奨のライセンスオプションおよびエディションへのアップグレードをお勧めします。

このガイドでは、製品のバージョンやエディションのアップグレード、または新たな製品の追加に関して、準備と実践のための手引きを提供しています。こうした取り組みは、長期の使用に耐える環境を維持するうえで欠かせない要素です。

このガイドで取り上げていない特定の状況も存在することでしょう。そのような状況に関しては、[Veeamのパートナー](#)、[営業担当](#)、または [更新スペシャリスト](#)に専門的なアドバイスとガイダンスをご依頼ください。

定義

製品	1つのインターフェイス、ライセンスキー、タイトルのもとで相乗効果を得られるように設計された、ひとまとまりの機能または処理環境（つまりソフトウェア）
サービス	特定の価値指標、購入モデル、サポート制度、ライセンスポリシーに沿って提供または販売されるソフトウェア
バンドル	特定のひとまとまりのソフトウェア、サービス、アドオンで構成されていて、割引価格で一括して提供されるサービス
アドオン	独立したサービスの追加機能または補完機能として提供される従属的なサービス
エディション	デフォルトの状態から機能が削減または追加された、製品の派生版

veeam